

2025年1月9日 第512号

# 憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター  
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)  
<http://www.kyodo-center.jp> mail: [move@zenroren.gr.jp](mailto:move@zenroren.gr.jp)

## 憲法共同センター「9の日」宣伝 にぎやかにアピール

### 憲法生かし、平和で安心して暮らせる社会を実現しよう！

憲法共同センターは1月9日昼、新宿駅東南口で「9の日」宣伝を行い8団体 21人が参加。松平晃さんのトランペット演奏やシンガーソングライターの大熊啓さんの歌声を織り交ぜ、にぎやかにアピール。「軍拡・増税に反対する署名」に13人、「憲法改悪を許さない全国署名」に11人の方が



協力してくれました。

日本共産党の伊藤岳参議院議員は、「総選挙での自公政権への審判の根っこには裏金政治への国民の怒りがあった。企業・団体献金はきっぱり禁止すべきであり、共産党は法案を提出した」と強調。「石破首相は、アジア版NATOを狙っているが、軍事対軍事、軍事同盟対軍事同盟ではウクライナのように、事態が深刻

化、泥沼化することは明らかなだ。9条改憲・軍拡NO！と力をあわせ奮闘しよう」と訴えました。

民青同盟の青山昂平中央常任委員は、「コロナ禍での食料支援には学生が列をなしていた。さらに物価高騰のなか学生は大変なのに、学費値上げの動きがあり許せない。政府は敵基地攻撃能力の保有で大軍拡をすすめており、これは平和主義を投げ捨てるものだ。2000～3000キロメートル射程のミサイルを保有することは、東アジアの脅威をあおる。戦争国家をすすめる動きを許してはいけない」と指摘しました。



### 今こそ核兵器禁止条約に署名・批准を

日本原水協の安井正和事務局長は、ノーベル平和賞受賞式に参加した日本被団協の代表3人が石破首相と面談したことについて、「核兵器禁止条約への参加などの要望に一切答えず、日本の安全にはアメリカの核兵器が必要だと核抑止論を述べたそう。それでも唯一の戦争被爆国の首相なのかと資質を疑う。核兵器廃絶を日本の安全保障政策の中心に据え、被爆国としての役割を果たし、すみやかに核兵器禁止条約に署名・批准すべきだ」と強調しました。

憲法会議の石山久男代表幹事は、「憲法会議は今年、結成60年を迎える。総選挙で与党が過半数割れ、改憲派が3分の2割れとなったもと、憲法を生かした政治に変えるチャンスだ。平和が守られ、安心して暮らせる社会にするため、声をあげ続けていこう」と呼びかけました。

大熊さんの『日本国憲法前文』の歌声で、宣伝を締めくくりました。